

【特集】

世界に誇る
東稲山麓地域の農業

中山間地域において、農業は、水源涵養機能、洪水の防止、土壌の浸食や崩壊の防止などの多面的機能により、昔から人々の暮らしを支えてきました。しかし、過疎化や高齢化の進行、後継者不足などにより、今後、集落機能や農地・山林の保全管理機能が低下することが懸念されています。

このような中、その土地の環境を生かした伝統的な農業・農法、生物多様性が守られた土地利用、農村文化・景観などを一体的に維持保全し、次世代へ継承するべく「世界農業遺産」が創設され、また、日本でも将来に継承すべき伝統的な農林水産業システムを評価する「日本農業遺産」制度が2016年4月に創設されました。

北上川東岸の平泉町、一関市、奥州市にまたがる東稲山麓地域では、伝統的な棚田農業と国内屈指の規模を誇る遊水地を活用した大区画水田農業を組み合わせて水害リスクを分散させるという、全国的にも希少な農業スタイルが営まれています。

そして現在、3市町と県南広域振興局が連携して、2019年度の世界農業遺産の認定を目指して、さまざまな取り組みが進められています。

今号では、世界農業遺産を通して、東稲山麓地域の農業の価値、魅力、そして今後の可能性を探ります。

写真：長島字遠代田地内の棚田
【棚田とは？】
山の斜面や谷間の傾斜地に階段状に作られた水田のこと。



いわぶらゆうき
岩渕有希さん
(平成17年生まれ・長島小5年)

僕が頑張っていること

僕が頑張っていることは空手です。空手をやろうとしたきっかけは、親が「空手をやってみたら？」と言ったからです。毎週火曜日に練習をしていますが、週に1回しか練習がないので、家でも練習しています。目標はまず県大会3位に入ることです。

とりどし
酉年生まれ
今年の抱負



みうら
三浦なつきさん
(平成17年生まれ・長島小5年)

しょうふく
習字の条幅8段に

今年の目標は、学習と習字を頑張ることです。学習は授業で習ったことを家庭学習などで復習したり、次に習うところを事前に予習したりしたいです。習字は、去年は半紙が8段になったので、今年は条幅も8段になれるように頑張りたいです。

今年が酉年。酉年は十二支の10番目に当たります。町内で酉年生まれの人54人(平成28年12月14日現在)。次代を担う子どもたちを代表して、4人の皆さんに今年の抱負や目標をお聞きしました。

町内酉年生まれの人数

生まれた年	人数
大正10年	7人
昭和8年	75人
昭和20年	81人
昭和32年	118人
昭和44年	65人
昭和56年	68人
平成5年	64人
平成17年	70人
合計	548人

文武両道！

僕が6年生になって頑張りたいことは、勉強と運動を両立することです。僕はスポ少でバスケットボールをしています。練習は大変でヘトヘトになるけど、そのせいで勉強ができないということがないようにして、下級生の手本になるような最高学年になりたいです。

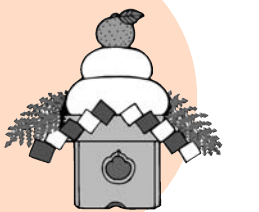


いしかわ れお
石川嶺央さん
(平成17年生まれ・平泉小5年)

笑顔で踊れるように

今年の目標は、勉強とマーチングの両立です。勉強では、少し漢字が苦手なので、正確に覚えたいです。

マーチングでは、後輩にポンポン隊の踊りを、笑顔で美しくできるように、優しく教えてあげたいです。自分自身も笑顔で踊れるように頑張りたいです。



おの であらみう
小野寺美優さん
(平成17年生まれ・平泉小5年)